

二つの季節、子ども

「汚い」としては兼いことないわい!!!

「そこぞ...」というくらい、トコゾロ

に...。大人にはできず、ちよと

引いてしまう「どろんどろん遊び」

実はアソビをもて  
いるんです。

**仲間、集団づくり**  
「人生の平和は全て幼稚園の砂場で学んだ」という有名な言葉がありますが、何となく協力して山や川をイフイフ、時には道具の取り合いやイメージの通いなどから、トラブルに巻き込まれることもあり、その後の人生を振り返ることにおいて非常に大切な経験となります。

**「自己肯定感」を育てる**  
ある調査によると、自己肯定感の低い子どもは巧い多くは「どろんどろん遊び」や「砂遊び」を愛中に「あそびのことで反抗しけいせい」が「夢中になら遊び」という本質をもっているそうです。

**本来の自分にはいられる**  
自然物、特に水・砂・土(どろん)は子どもたちの身も心も解放し、「本来の自分」を素に「どろんどろん遊び」を表現し、土を使った「遊び」を通じて、よく笑いよくしゃべるようになる。壁が壊れ「思いっきり遊んだ!」満足感を味わえる。

**健康への身体づくり**  
戸外で遊ぶことは、角質を剥いで、皮膚を鍛えられ、免疫力を高める。また、皮膚を鍛えられ、免疫力を高める。また、皮膚を鍛えられ、免疫力を高める。また、皮膚を鍛えられ、免疫力を高める。

**たぬすん  
ほとつうしん**  
2020-5-15

**想像力・創造力・集中力・忍耐力を養う**  
乳幼児期には、水・砂・土などの素材に角質を剥いで遊ぶことが大切で、どろんどろん遊びは、素材に角質を剥いで遊ぶために、形を変えて、不思議で面白いものを作る。また、混ぜ合わせることで、不思議で面白いものを作る。また、混ぜ合わせることで、不思議で面白いものを作る。

お洗濯は大変ですが、子どもたちには「汚い」としては兼いことないわい!!!  
大人「どろんどろん」が楽しいとはならないわい...

CGE

さらに

子どもの「どろんどろん遊び」や「砂遊び」は悪者どころか、(健康を考える上で)じつは理に合った遊びだということがわかりました。むしろ、過度に清潔にして育つ=子どもほど、大人よりも不健康になるのです。きれいにしてしまうと免疫力が落ちてしまう。だからこそ子どもに「どろんどろん遊び」をさせることが重要なのです。

すべての菌を「汚い」「不潔」と排除しようとするのはおとく。少し大らかな気持ちで菌と共存してやるのが最高の健康状態を維持するためには必要なのです。

「どろんどろん遊び」の良さは、科学的にも実証されています。人間の身体にはセロトニンといふものが低下すると「うつ」になり、精神的に不安定になります。泥の中に含まれる細菌には、セロトニン分泌を促す効果があるようで、「どろんどろん遊び」には、そういう精神的なケアや成長を、単純に「やる気をアップさせる」という側面もあるそうです。しかも、実際、うつの人々の治療のひとつとして使われているそうです。